

# 舵輪

空ぶっしの甲羅子

『自分史(戦中の思い出)と徒勞の果て』 辻田 豊

404

「昔々海員養成をしましたが、ただの一度も乗船することなく今まで来ました。先の短い年令となつて強いノスタルジー、夢は勝海舟の様に一度太平洋を渡つてみたい。その感激の何分の一でも味わいたい。こんな動機で参加しました。」

これが遠洋航海、新海王丸の船上で実習生を前に自己紹介した私の言葉です。ところで、今タイムマシンを半世紀余り戻してみます。目下、教室を掃除中のところ、今日も級長が担任教諭の伝言を持ってくる。時は昭和18年、太平洋戦争の暗雲。まず大学生の学徒動員に続いて、陸海軍の少年兵大量募集のキャンペーンが行われている。学級ごとに目標何名と書いた線に近づけるよう一生懸命。「おまえは次、三男だったな。どこか少年兵を受験しろ！」と名指しで言われる。今日も、陸海軍に入隊する生徒の激励壮行会が全校生徒を集めて行われた。指名の問責にそれならばと、当時の私共には最も難関とする七ツ釘の海軍少年飛行兵予科練を志望した訳です。そこは、海と空が好き、高所を好む馬鹿と鶏の類。就職は、海員養成所にマスト登り、信号、綱結び、漕艇、操舵などの甲板員。つまり航海科です。

まず驚いたのは、指導の下級船員を除くほとんどが海軍将校ばかりである。中にたった一人、抱き波頭に日の丸アンカの帽章とWの船員服の二等航海士(セコンド・オフィサー)がいる。そこに配属武官、特務少尉と二人の兵曹が加わっている。彼らの担当は発光モールスと応急部員。後で判ったことは、校長、教頭、大尉を筆頭に中尉、少尉はざら。それらは皆高等商船出の予備役士官であつたが、日夜海軍式の教育である。

いよいよ配属先も決まった矢先、特別な国語の課業が設けられて手渡された。そのテキストを見ると、レベルの高い国文学の紹介。島崎藤村あり、小泉八雲、石川啄木などの詩や短編等が載せてある。はじめは「千曲川旅情」の説明でしたが、

その中に講師、船員服の航海士が「武官の動向に注意するように」との指示を出して、「戦時なればこそ重要だ」と言い、「極端な敵、味方の意識で人間性、つまり理性を失つてはならない。祖国愛と共に親子、兄弟、男女の情愛、人間本来の心を忘れるな」と続き、「おまえ達は船員。軍人とは違ふのだから簡単に死なず生き残れ。そしてようやく来る戦後に備えて、その時こそ本当にお国のために頑張つてもらいたい。当面のところ、乗船してまず驚くと思ふのが、一般に知らされて以上の戦局は悪い。たとえば〇〇」と非公開を漏らす。「とにかく誤つた戦争に飛び込んだ訳だ。日本の国のためには何とか早く終わらせるのが望ましいが、あくまで我々の職務は輸送であつて戦争ではない！」と力説。そして翌日、同期の皆は横浜、神戸へと去つて行つたのでした。

ところで、私を含めた少人数は取り残され、舞鶴軍港へ。それは、かねて実施された音感識別の調査で選ばれたとか。海軍護衛総隊司令部が催した船舶向けの対潜水艦の水中聴音要員としての特別教育。防備隊の水測庫に缶詰。音響の判断、操法、メカ、メンテナンスの押し込み。終了後は一旦母校に帰り、任地の神戸へ改めて出向く予定。

しかし、その慌ただしい真つ最中に突然舞い込んだのが近くの岡崎海軍航空隊への採用入隊通知書である。さあ大変。それから夜半まで教官室での詰問と説得の繰り返し。傍らで現役軍人の配属武官は二ヤニヤしているだけで一言も喋らない。軍服の教頭は、「この戦争は長く続かないし、上空を飛んでいる物もまともなガソリンでない物も使っている。我々が外地から物資や燃料を思うように運べないのが原因。今頃航空隊へ行つても、触れる飛行機はあつてもおまえの乗る物はない。このことで将来、海員手帳もなく、仕事を棒に振るやもしれない。今おまえが決心さえしてくれば連絡を取り、船会社へ調査に来る憲兵軍事警察には、本人は既に海上と匿うし、事実、乗船最優先を条件につけるがどうだ。おまえは道理を充分過ぎるくらい判っているはずだ」とまで言い出す。さんざん考えた末、甘えても他人には迷惑な話。一応、指定

入隊日には逃げ隠れせず出頭しますが、それに間に合うように名古屋海軍人事部を通じての採用の取り消し手続きをお願いして帰宅しました。

そして当日、恒例の出征兵士としての一切の見送り行事をボイコット。隊門前に行き、集まつたところで頭に手の届くほどの大手を振らされて入門。机を並べた事務兵の前で申告。名簿と照合。そこで抹消の印である線引きがされているのを認め、直ちに伺いの上審処理。待つように言われ、帰してくれぬ事を期待しながらただ一人ボツと立ちんぼ。机と椅子が取り払われてもそのまま。やがて古参の兵曹が現れ、「俺について来い！」と兵舎へ。自分は仮入隊のスベア。皆は平常服に着替えた胸元に管轄と兵籍番号を記入されているのに、私はただ分類と氏名のみ。こんな状態で新兵が終わるまで続く。そんな中でも赤とんぼ練習機の機体、エンジンの分解・組立などの課程は夢中で過ごしましたが、アメリカの空爆が始まり、それに対応する土工作业。ついには陸海全軍の教育中止。即実戦配置。西伊豆の水上特攻基地へ。そして終戦。

運の悪い星はなおも続く。外洋航行可能な全船舶を動員した外地からの邦人の引き揚げと軍人の復員に、元護衛総隊の所属だつた海防艦(フリゲート)を非武装にして使用するの、急きよ乗組員を集める準召集令が出されましたが、またしても外れ。とんでもない。身近な予科練仲間、私に似た名の辻田一君。海上にはまつたく縁のない人物が佐世保港から乗船。たつた一度の中国大陸の天津への一往復で強度の船酔い、ダウンで下船。一方の私は、造船工、塗装関係などを続け、河童の陸上がりで終わつた訳です。このような体験上、まつたく遅すぎた一言、「若者よ、決して時代の波に流されるな！ましてや魂を抜かれたようなノボリなんてとんでもない。将来、到来を予測される未知の大変革には、強引すぎるくらい個性ムンムンの信念を持つ人こそ、本当に生きてくるはず」と老爺心ながら大声で叫びたいのである。

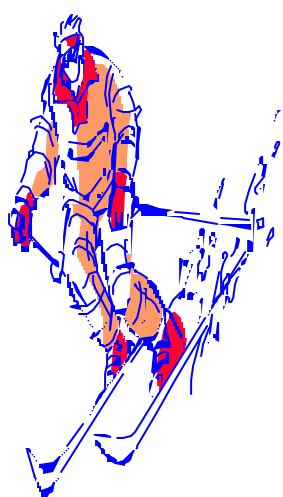
## お知らせ

『第6回海王丸ボランティアスキーツアーの募集案内』

ボランティアの皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。つきましては、左記のとおりスキーツアーを行いますので、ご家族、お友達を誘つてスキーと温泉に多数の参加をお待ちしております。

当時の校長 吉野喜代松  
教頭 安藤平八郎  
(後の海自、佐世保総監)  
船員服の二等航海士 永井(某)  
(館山水産高校へ行ったとかの話)

日時	金曜 11年2月12日	記
会場	野沢温泉スキー場	21
費用	大人35名参加の場合	26000円/1人
	30名参加の場合	27500円/1人
納入日	餅つき大会日(12月23日)	
	鏡開き大会日(1月11日)	
連絡先	呉東地区	
	水野 洋子	0764912540
	森田 恵子	0764921253
	呉西地区	
	山谷 実	0766823913
	坂橋 誠	0766846329



# 舵輪

『チヨツサーの豆知識』改め  
SPECING THE MAIN BRACE

「Know the ropes」要領を得ている、こつを呑みこんでいる

新しくボランティアになった方はもちろん、古参のボランティアの方も、最初は帆船のロープの多さに圧倒されたことと思います。ましてや、その名前と役割をすべて覚えるなど、気の遠くなるような話に思え、「やめようかな」と弱気になられた方もいらっしゃるのではないかと（そんなことはないか？・・・）と思います。さて、今も昔も少し大型の帆船ともなると、実に多種多様な無数の帆を装備して、これら多くの帆を自由に操縦するには、檣（マスト）や桁（ヤード）に縦横に取り付けられている多種多様の無数のロープをそれぞれ区別し、その取り扱い方をいまいち心得ていなくては帆船乗りにはなれません。そうしたロープの扱い方を知っていることが、つまり、帆船の操縦に通じることであつた訳です。このことから英語では「要領を得ている、こつを呑みこんでいる」ということを「to know (learn) the ropes」（直訳すれば「ロープを知る」というようになりまし。今では船に限らず、むしろ一般の陸上用語として物事の要領（こつ）を心得ていることを意味するようになりまし。

イギリスの作家で、帆船時代を経験した船乗り「サー・ジェームス・ピセット」はその著書「セイル・ホー」の中で、「帆船にはたくさんの索具があるが、ロープという言葉がつけられた索具はきわめて稀である。ロープという言葉が絞首刑の時に罪人の首に巻き付けた縄や鞭打ち刑の際に使われる縄が連想されるので、昔から帆船では、ロープは縁起の良くない言葉としてことさら避けてきたのかもしれない。『ロープを知らなくてはならぬ』という古い諺には、単なる表面上の意味以上のものが含まれている。」と述べています。たしかに、海王丸にもロープと名の付いた索具はほとんどありません。ヤード上で作業するときに乗るフット・ロープと命綱をかけるバックロープ、帆の

周囲に取り付けてあるボルトロープ、水先人が乗下船するときを使うマンロープ、くらしいしかりありません。これだけたくさん「ロープ」がありながら、ロープという名前が付いた「ロープ」がほとんどないというのを覚えたとき、一人前の帆船乗りになれるということかもしれませんがね。

## 財団からのお知らせ

海王丸ボランティアの集いについて

平成10年度帆船海王丸ボランティアの集いを左記のとおり開催いたします。お忙しいこととは思いますが、多数のご参加をお待ちしております。なお、精勤賞の表彰式を併せて行う予定にしております。

日時 12月5日（土）  
18時30分～20時30分  
場所 富山県職員会館203号室  
（富山市新桜町1の2）  
0764（41）4004

餅つき大会について

年末恒例の餅つき大会を左記のとおり実施いたします。従来、ボランティアの皆様は前日から準備をお願いしてまいりましたが、本年度は1日で行いたいと考えております。そのため当日は大変忙しいことが予想されます。多数の皆様のご協力をお願いいたします。

日時 12月23日（祝）9時  
場所 海王丸係留ドルフィン上

鏡開き大会について

年始恒例の鏡開き大会を左記のとおり開催いたします。年頭にあたり皆様のご健康とご多幸を盛大にお祝いしたいと思っております。多数のご参加をお待ちしております。

日時 1月10日（日）9時  
場所 海王丸係留ドルフィン上

99帆船海王丸カレンダーの斡旋

前号でもご紹介しましたが、海王丸パーク写真コンテストの優秀作品で作られるカレンダーをご希望の方は財団事務所へお申し込みください。

価格 千二百円（税込、送料別）  
発売予定 11月下旬

海王丸整備作業への参加について

毎年、冬季にはセイル作製等の作業をボランティアの皆様方のご協力により実施しておりますが、今年度も同様によりしくお願いいたします。年末年始を除き海王丸では常に作業を行っております。参加日、参加時間は自由です。お気軽にご参加下さい。なお、作業服、用具等は船で用意いたしますが、昼食等が必要な場合は申し訳ありませんが各自でご用意ください。

## 係から

忘れ物

前回の展帆で使い捨てカメラを忘れた方、船で保管しておりますのでご連絡をお待ちしております。なお、その他の忘れ物のお問い合わせも市川までご連絡ください。

住所変更等

ボランティアの皆様で住所、電話番号等が変更になった方は展帆等の出欠はが

きを利用してお知らせください。

作業服等の交換

皆様に貸与しております作業服、高所作業帽が汚損している方は随時交換いたしますので申し出て下さい。なお高所作業帽の耐用年数は、安全上5年となっております。古い物をお持ちの方は例えきれいであっても交換いたしますので、併せて申し出て下さい。

## 展帆の日

月日 天候 参加者 その他

10/25 曇 76名 スターボードタック・シャープアップヤード NHK BS2 生中継協力  
11/3 晴 74名 スターボードタック・スクエアヤード アンペンディングセイル及び餅つき大会のミーティング実施

## あとがき

今年度は、予定されていた10回すべての展帆も無事終わりました。これも一重にボランティアの皆様のご協力とご努力の結果です。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

特に最後の展帆は、一番スムーズかつ華麗であったのではないかと思います。そのことは、アンペンディングセイルに参加していただいたボランティアの皆様方の作業ぶりからも感じられ、1日で作業を終えられるほどの技量となつております。

海王丸は現在、船体の整備を行い冬支度を行っております。しかしながら、いつでも皆様のそばにおりますので、ぜひ顔をうかがってやってください。来年もまた元気な姿で皆様とお会いできることを楽しみにしております。今年1年間、本当にお疲れさまでした。 I T T Y